



# 小学生 『海事教室』を開催！

～親子で乗船探検！  
フェリーとかしきで船と船員を学ぶ～



泊大橋を通過するフェリー

去る2月11日、小学生を対象とした「親子で乗船探検！ 船と船員を学ぶ『海事教室』 in とかしき」を実施しました。

海事教室は、若年層の内航船員の確保推進を目的に、運輸部に事務局を置く「沖縄若年内航船員確保推進協議会」の取組の一環として開催され、平成23年度の開始から数えて4回目となります。

今回は、那覇市・浦添市の小学校に對し募集を行い、応募者（児童359人、保護者337人）の中から児童42人・保護者37人の計79人の親子が参加

しました。初めての試みとして、フェリーとかしき（渡嘉敷村所有）の乗船航海を取り入れ、泊港から渡嘉敷島まで渡航したことが人気を呼んだようです。



泊港の棧橋を離岸し、泊大橋の下

に差し掛かった際には、橋桁を見上げて「船に引っかかるー！」との声があがりました。実際の橋桁は、フェリーよりかなり高いのですが、普段見慣れない景色に何組かの親子が思わず同じような声を発していました。

乗船中の船内では、親子でロープ結び体験を行い、児童より夢中になって練習する保護者や反対に親御さんに教える児童もいました。中には「うまく出来なかった。でも、家に帰ったらもっと練習して友達に教えてあげたい。」と言う児童もいるなど、ロープ結びをマスターしようと挑戦するほほえましい様子があちら



ロープ結び体験

こちらで見受けられました。約70分の航海を終えて渡嘉敷港に入港。いよいよグループ毎に分かれて船内見学の開始です。

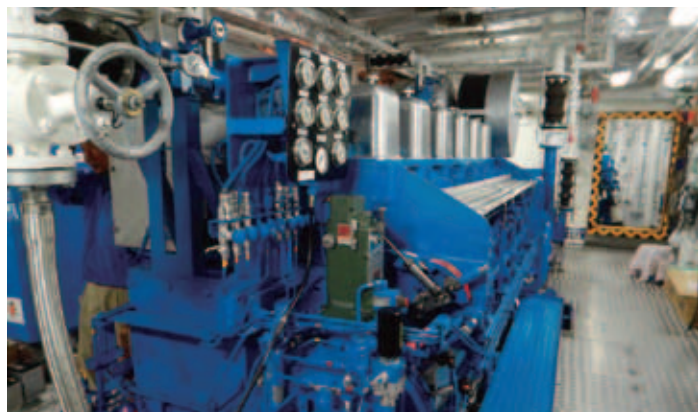
船内では、一般客の立入が制限されて減多に入れない船橋（ブリッジ）や機関室を見学しました。ブリッジでは、海図やコンパス、レーダーなどの操舵装置に興味津々、機関室では自動車1台分もあるメインエンジンに皆驚いた様子でした。

また、客室内には、バリアフリー設備として手摺りや点字ブロックの他にエレベーターが設置されていたこと

から、「船にもエレベーターが付いている！」と驚く児童もいました。

船内を見学した後は島内の公民館に移動し、講話やクイズ形式で船や船員について学ぶ『海事教室』を開催。講師の魚住首席海技試験官（当時）の講話の中では、一海里的長さについての興味あるお話がありましたので、別掲のコラム（「海の豆知識」）をご一読ください。

日帰りでの1日体験でしたが、参加した児童の中には、将来、船の仕事をしてみたいとの感想が綴られたアンケートも多く、子ども達にとって、海の仕事が大変魅力的に感じた想い出に残る体験となったようです。



本船のメインエンジン



機関室見学



熱心にメモを取る児童

## 海の豆知識

一海里は何メートルかご存じですか？

海上では、距離の単位を海里（マイル）を使用し、船の速度もマイルを基にノットで表されます。

例えば、1時間で10海里進んだ場合は、速度は10ノットということになります。

冒頭の答えは、1,852mとなります。

この1852という数字ですが、簡単に覚えるコツがあるんです。

月間カレンダーで、その月の1日から縦に4つの数字をご覧ください。その4つの数字の一の位だけを見ると、「1・8・5・2」となり、一海里的距離が隠れています。これは他の月でも同じ数字となりますので、豆知識として覚えてみてはいかがでしょうか。



海事教室学習資料

5月	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							